

地域・在宅看護方法論

| | | | |
|--------------|-------------------|--------|--------|
| 責任者・コーディネーター | 地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授 | | |
| 担当講座・学科(分野) | 地域包括ケア講座 | | |
| 対象学年 | 2 | 区分/単位数 | 講義/2単位 |
| 期間 | 後期 | | |

・学修方針(講義概要等)

子どもから高齢者まですべての年代、健康の保持増進から看取りまであらゆる健康レベルの対象者が地域で暮らす中、多様な事例を通して、在宅療養者と家族に対しての日常生活援助や医療的ケアについて具体的な技術を学ぶ。病院から自宅・施設へ療養の場の移行に伴う退院移行支援の必要性について学び、地域・在宅における看護過程の特徴をふまえ、情報収集・アセスメント・計画立案・実施評価の一連の流れを学修する。その中で、本人・家族の希望を重視しながら看護課題・ニーズに対応するため、多職種・多機関との連携、看護職間の連携、近隣住民との連携がかかせないことを学ぶ。

・教育成果(アウトカム)

地域に暮らす在宅療養者と家族を対象とした看護過程の展開を実施することにより、生活の中に医療的ケアを取り入れ、その家庭にあった物品の工夫、本人・家族への療養生活の指導など具体的な看護計画の立案が必要なことを理解できる。また、地域・在宅看護で多く出会う脳卒中後遺症・小児・終末期・難病などの事例を想定し、その対象にあった在宅療養生活と医療的ケアについてイメージできる。同時に、在宅療養を継続する中で疾患や障害の理解とともに、本人・家族を取り巻く環境の中で起こりうる問題である老々介護、介護疲労、社会的孤立などの社会的背景をふまえ、どのような支援が必要なのか考えることができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

| | |
|---|---|
| 4 | 看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。 |
| 5 | 患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。 |
| 6 | 災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。 |

・到達目標(SBO)

1. 病院と自宅・施設等との継続看護について、スムーズな移行・連携のために必要な体制について説明できる。
2. 地域・在宅における看護過程の特徴を理解し、情報収集、アセスメント、目標設定、計画立案、実施評価の過程について説明できる。
3. 地域に暮らす在宅療養者と家族について、対象にあわせた日常生活援助および医療的ケアについて説明できる。
4. 地域に暮らす在宅療養者と家族を支援するための具体的な社会資源の活用について考えることができる。
5. 地域には多様な疾患・障害、社会的背景をかかえながら生活している人々があり、その人らしさを尊重して支援することが大切なことを理解できる。

・授業日程

【講義】

会場：西1-B講義室

| 月日 曜日 時限 | 授業内容/到達目標 | 担当教員 |
|-----------------|---|----------------------|
| 9/18 水 2限 | 【授業内容】 療養の場の移行に伴う看護(教科書①p.103~113) ・継続看護の重要性を述べることができる ・医療施設、介護施設の概要を説明できる ・退院前カンファレンス、地域連携クリニックバスについて説明できる 【関連するSBO】 1 【事前学修:120分】 講義範囲の教科書を読んで概要を把握する 【事後学修:120分】 療養の場の移行に伴う看護の要点をまとめる | 地域包括ケア講座 藤原 弥生 助教 |
| 9/25 水 2限 | 【授業内容】 患者サポートセンター入退院支援看護師の実践について(ゲストスピーカー) ・療養の場の移行に伴う入退院支援に関わる看護職の役割を説明できる ・退院支援に関わる多職種との連携の必要性を説明できる 【関連するSBO】 1 【事前学修:120分】 前回の講義の内容を復習する 岩手医科大学附属病院のホームページを閲覧し、患者サポートセンターの機能について把握する 【事後学修:120分】 入退院支援看護師の看護活動とその役割について、要点をまとめる | 地域包括ケア講座 藤原 弥生 助教 |
| 9/27 金 1限 | 【授業内容】 在宅における看護過程(教科書①p.212~220,②22~30) ・在宅療養者と家族の多様性を理解できる ・訪問看護における看護過程の特徴を説明できる ・在宅療養者の特性に対応した看護過程の展開が理解できる 【関連するSBO】 2 【事前学修:120分】 講義範囲の教科書を読んで概要を把握する 【事後学修:120分】 在宅における看護過程の展開について要点をまとめる | 地域包括ケア講座 藤原 弥生 助教 |

| | | |
|------------------|--|---|
| 9/30 月 1限 | <p>【授業内容】在宅看護過程の展開 ―グループワーク―</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅で療養する事例の概要を捉えることができる ・グループで担当する在宅療養者と家族の看護に必要な情報収集の方法とアセスメントの視点が理解できる <p>【関連するSB0】2</p> <p>【事前学修：120分】担当になった事例の疾病、ライフステージ、生活背景について学修する</p> <p>【事後学修：120分】担当になった事例の関連図を作成し、看護課題・ニーズを抽出する</p> | <p>地域包括ケア講座 藤原 弥生 助教 藤澤 純子 助教</p> |
| 10/7 月 4限 | <p>【授業内容】在宅看護過程の展開 ―グループワーク―</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで担当する在宅療養者とその家族の生活上の課題・ニーズについて関連図を用いて説明できる <p>【関連するSB0】2</p> <p>【事前学修：120分】担当になった事例の関連図を作成し、看護課題・ニーズを抽出する</p> <p>【事後学修：120分】グループワークを振り返り、アセスメント、関連図を加筆修正し、提出する</p> | <p>地域包括ケア講座 藤原 弥生 助教</p> |
| 10/18 金 1限 | <p>【授業内容】在宅看護過程の展開 ―グループワーク―</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで担当する事例の家族支援の方法を考えることができる ・在宅療養者の特性に対応した看護課題・ニーズを抽出できる ・看護課題・ニーズの優先順位を根拠に基づき説明できる <p>【関連するSB0】2</p> <p>【事前学修：60分】担当になった事例の看護課題・ニーズの優先順位を考える</p> <p>【事後学修：180分】担当する事例の発表に向け資料を作成し、提出する</p> | <p>地域包括ケア講座 藤原 弥生 助教 藤澤 純子 助教</p> |
| 10/21 月 3限 | <p>【授業内容】日常生活を支える看護技術(教科書②p.70～104)/療養を支える看護技術(医療ケア)―排泄ケア―(教科書②p.137～145)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食生活におけるアセスメント方法を述べることができる ・在宅療養の場における排泄およびその支援について説明できる ・介護者や家族に負担のない生活環境の整備について考察できる ・在宅における尿道留置カテーテルやストーマ装着の療養者・家族への看護が説明できる <p>【関連するSB0】3、4</p> <p>【事前学修：120分】講義範囲の教科書を読んで概要を把握する</p> <p>【事後学修：120分】在宅における日常生活の支援の要点をまとめる</p> | <p>地域包括ケア講座 藤原 弥生 助教</p> |
| 11/6 水 1限 | <p>【授業内容】在宅看護過程の展開 ―発表、フィードバック―</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク、発表を通じて、在宅で生活する療養者と家族の特性を理解した上で、看護の役割および多職種・多機関の連携を考慮することができる <p>【関連するSB0】2、3、4、5</p> <p>【事後学修：240分】発表を振り返り、在宅療養者と家族のアセスメントの視点、看護課題・ニーズを捉える要点をまとめる</p> | <p>地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授 藤澤 純子 助教</p> |
| 11/6 水 2限 | <p>【授業内容】在宅看護過程の展開 ―発表、フィードバック―</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク、発表を通じて、在宅で生活する療養者と家族の特性を理解して展開される看護の役割および多職種・多機関の連携を考慮することができる <p>【関連するSB0】2、3、4、5</p> <p>【事後学修：240分】発表を振り返り、在宅療養者と家族のアセスメントの視点、看護課題・ニーズを捉える要点をまとめる</p> | <p>地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授 藤澤 純子 助教</p> |
| 11/8 金 1限 | <p>【授業内容】療養を支える看護技術(医療ケア) ―薬物療法、がん外来化学療法― (教科書②p.108-117)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬物療法、がん外来化学療法におけるアセスメント、援助方法、療養者・家族への支援について説明できる ・在宅における服薬管理が必要な療養者・家族への看護の特徴が説明できる <p>【関連するSB0】3、4、5</p> <p>【事前学修：120分】講義範囲の教科書を読んで概要を把握しておく。また、1・2年生で履修した科目において、薬物療法の特徴や薬物療法に必要な看護技術について復習する</p> <p>【事後学修：120分】在宅で薬物療法をしている療養者・家族への支援の要点をまとめる</p> | <p>地域包括ケア講座 藤澤 純子 助教</p> |
| 11/11 月 3限 | <p>【授業内容】療養を支える看護技術(医療ケア) ―排痰ケア・在宅酸素療法・人工呼吸療法― (教科書②p.117-137)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養者の呼吸機能と環境のアセスメントが説明できる ・在宅酸素療法や人工呼吸器を装着している療養者・家族への看護が説明できる(災害時も含めて) <p>【関連するSB0】3、4、5</p> <p>【事前学修：120分】講義範囲の教科書を読んで概要を把握する。また、1年生で履修した科目において、呼吸を楽にする援助技術について復習する</p> <p>【事後学修：120分】排痰ケア・在宅酸素療法・人工呼吸療法をしている療養者・家族への支援の要点をまとめる</p> | <p>地域包括ケア講座 藤澤 純子 助教</p> |
| 11/18 月 3限 | <p>【授業内容】療養を支える看護技術(医療ケア) ―経管栄養法・中心静脈栄養法― (教科書② p.145-155)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅で経管栄養や中心静脈栄養を行っている療養者と家族への支援について説明できる ・地域・在宅看護における倫理的課題について考察できる <p>【関連するSB0】3、4、5</p> <p>【事前学修：120分】講義範囲の教科書を読んで概要を把握する。また、1・2年生で履修した科目において、食事・栄養を促す援助技術について復習する。</p> <p>栄養法変更に関わる倫理的課題を考える。</p> <p>【事後学修：120分】経管栄養法・中心静脈栄養法をしている療養者・家族への支援の要点をまとめる</p> | <p>地域包括ケア講座 藤澤 純子 助教</p> |

| | | |
|------------------|--|---|
| 11/25 月 2限 | <p>【授業内容】在宅における家族支援の実際(グループワーク、発表)</p> <p>・在宅における家族への支援・援助を含めた看護計画が立案できる</p> <p>【関連するSB0】3、4、5</p> <p>【事前学修:120分】</p> <p>・本科目「地域・在宅看護方法論」第7回、第10回、第11回、第12回の講義範囲の教科書②や資料を参照し、療養者の家族・介護者への支援について復習する</p> <p>・家族支援に関する看護計画を立案する</p> <p>【事後学修:120分】グループワークを振り返り、在宅療養者の介護者・家族への支援における訪問看護師の役割をまとめ、提出する</p> | <p>地域包括ケア講座</p> <p>岩淵 光子 教授</p> <p>藤澤 純子 助教</p> |
| 12/2 月 4限 | <p>【授業内容】「家にいたい」と希望する療養者・家族への支援</p> <p>—在宅で難病を抱える療養者と家族を支える看護—</p> <p>・筋萎縮性側索硬化症(ALS)、パーキンソン病の療養者と家族への看護について説明できる</p> <p>・難病を抱えながら在宅での生活を送る意味、健康危機管理(災害など)について考えることができる</p> <p>・地域・在宅看護における倫理的課題について考察できる</p> <p>【関連するSB0】5</p> <p>【事前学修:120分】難病の療養者・家族を支える制度、2年生で履修したALS、パーキンソン病に関連した科目について復習する</p> <p>【事後学修:120分】在宅で難病を抱える療養者と家族を支える看護の要点をまとめる</p> | <p>地域包括ケア講座</p> <p>藤原 弥生 助教</p> |
| 12/12 木 2限 | <p>【授業内容】「家にいたい」と希望する療養者・家族への支援</p> <p>—在宅におけるエンド・オブ・ライフケア—</p> <p>・在宅で最期を迎える療養者への看護を説明できる</p> <p>・自己決定(意思決定)への支援が理解できる</p> <p>【関連するSB0】5</p> <p>【事前学修:120分】2年生で履修したエンド・オブ・ライフケアに関連した科目・演習について復習する</p> <p>【事後学修:120分】在宅におけるエンド・オブ・ライフケアの要点をまとめる</p> | <p>地域包括ケア講座</p> <p>藤原 弥生 助教</p> |

・教科書・参考書等

| | 書籍名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 |
|---|------------------------------------|-------|-----------|------|
| 教 | ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア | 臺有桂 | メディカ出版 | 2022 |
| 教 | ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術 | 臺有桂 | メディカ出版 | 2022 |
| 参 | 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[1]地域・在宅看護の基盤 | 河原佳代子 | 医学書院 | 2022 |
| 参 | 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[2]地域・在宅看護の実践 | 河原佳代子 | 医学書院 | 2022 |
| 参 | 関連図で理解する在宅看護過程 第2版 | 正野逸子 | メヂカルフレンド社 | 2021 |
| 参 | 家族看護を基盤とした地域・在宅看護論 第6版 | 渡辺裕子 | 日本看護協会出版会 | 2022 |
| 参 | 基礎からわかる地域・在宅看護論 | 池西静江 | 照林社 | 2021 |
| 参 | 地域・在宅看護論 | 河野あゆみ | メヂカルフレンド社 | 2021 |

・成績評価方法

| |
|--|
| <p>【総括的評価】定期試験80%、提出課題20%にて評価する。</p> <p>【形成的評価】各回に講義において、振り返りシートの提出を求め、学習の成果を確認する。</p> <p>適宜、講義時に小テストを実施し、学修状況ならびに理解度を確認する。なお、小テストの点数は成績には反映しない。</p> |
|--|

・特記事項・その他

| |
|--|
| <p>【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】</p> <p>・適宜、WebClassに授業中に解説した資料等を掲載するので確認すること。</p> <p>・レスポンスカード・提出された課題については、授業等で適宜コメントを伝える等、学生にフィードバックする。</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】</p> <p>保健師(別表1):公衆衛生看護学 個人・家族・集団・組織の支援</p> <p>看護師(別表3):専門分野 地域・在宅看護論</p> |
|--|

・授業に使用する機器・器具と使用目的

| 使用区分 | 機器・器具の名称 | 台数 | 使用目的 |
|------|-----------------------------------|----|---------------------|
| 講義 | プロジェクター | 1 | 講義用スライド投影 |
| 講義 | 書画カメラ | 1 | 講義および学生のグループ発表時資料投影 |
| 講義 | DVD(ブルーレイおよび一般DVD)再生機器 | 1 | 講義時資料投影 |
| 講義 | デスクトップパソコン(HP ProDesk 400 G7 SFF) | 2 | 講義資料の作成等 |